

事業所名

児童発達支援センター  
千葉市大宮学園 ひまわりルーム

支援プログラム

作成日

令和

6年

12月

2日

法人（事業所）理念		○すべての利用児をかけがえのない存在として尊重し、利用児にとって最善の利益を最優先にします。 ○利用児の人権を擁護し、自己実現を支援します。その職務を遂行する過程で知りえたプライバシーを保護します。 ○専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供します。 ○医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援します。								
支援方針		○利用児に対し福祉、医療の両面から総合的な発達支援を行います。 ○保護者の方への育児支援を行います。 ○施設の資源を最大限に活用し、地域支援を行います。								
サービス提供時間		10時	00分から	14時	00分まで	送迎実施の有無	あり	市内を3台のバスで区域ごとのコース設定を行い運行します。また、利用状況に応じて運行コースの見直しを行います。		
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・健康状態を把握し、生活リズムの形成や健康で丈夫な身体づくりに取り組みます。 ・食事、排泄、着脱、手洗いなど、基本的な生活習慣を身に付けられるように、スモールステップで支援を行います。								
	運動・感覚	・色々な遊具や身体を使った遊びを通して体の動かし方を学び、運動の楽しさを感じるとともに運動機能の向上に向けて支援します。 ・プール遊び、砂、粘土、絵の具、紙遊び、ボールプール、音楽等の感覚遊びを通して、いろいろな感覚を受け入れ楽しく遊べるように支援します。								
	認知・行動	・集いの中で、着席の持続や見る力、聞く力を育てます。また、個別課題学習では個々のニーズに応じた課題を提供し、操作性の向上や認知機能の向上を目指します。 ・見通しを持って安定した生活が送れるように、視覚支援を活用しスケジュールや活動の開始と終了など、活動の切り替えをスムーズに行えるように支援します。								
	言語 コミュニケーション	・日々の生活や遊びを通して、分かりやすい言葉かけを心掛け、言語を受容し表出する支援を行います。 ・指差しや身振り、絵カード等のコミュニケーション手段を選択、活用し個々に合わせた支援を行います。								
	人間関係 社会性	・環境に対する安心感、人に対する信頼感を育み、人間関係や集団参加への基盤づくりを行います。 ・集団生活に必要な決まり事や社会性を身に付け、物事に取り組む意欲を育てます。								
家族支援		○保護者が障害を持つ我が子を理解し、より良い子育てができるよう支援します。また、個別相談にも、随時対応します。 ・専門職や保育士、指導員による勉強会や個別相談会を実施し、お子さんへの関わり方、発達の見通しをもって支援します。 ・子育てなどの悩みに対して、個別に相談できる環境を設け対応します。 ・親子通園日にお子さんと活動に参加する中で助言等を行います。 ・クラスごとに、保護者同士が子育てについて話合える機会を設けます。			移行支援		○幼稚園・保育所等の移行や数年後にある就学に向けた情報を得られるようにします。また、就学に向けた支援を行います。 ・学校生活に必要なことについて、園内で練習を積み重ねていきます。 ・就学までの流れの説明や卒園児保護者による講演会開催等、就学選択への情報提供・相談・助言を行います。 ・就学先の小学校と連携します。			
地域支援・地域連携		○地域住民のニーズの多様化に伴い、単に利用児の支援の場としてではなく、地域社会の資源としてサービスを提供し、在宅障害児及び家族が安心して生活できるよう支援します。また、ボランティア等を積極的に受け入れ地域に開かれた施設運営を目指します。 ・近隣の関係施設（保育所・幼稚園）と交流保育を行い、相互に影響しあい必要な社会性等を養います。			職員の質の向上		○職員の資質向上のため、施設内外の研修に参加し、職員間で知識や情報を共有することにより、利用児の支援向上を図ります。（千葉県通園施設連絡協議会主催の職員研究大会・専門別研修会・療育セミナー等、全国児童発達支援協議会（東北関東ブロック）主催の施設長研修会・職員研修会等、福祉サービス苦情解決担当者・第三者委員会研修等、幼稚園・保育所・小中学校・特別支援学校・療育関係機関等との合同研修等）			
主な行事等		入園式、講演会（OB講演会）、家族遠足、講演会（集団移行）、歯科健診、参観日週間、七夕会、芋ほり遠足、運動会、社会体験学習、講演会、劇発表会、クリスマス会、獅子舞い、豆まき会、ひな祭り会、卒園式、お別れ会等								